

九州地方協・第41回女性集会を開催

27支部83人参加で——5月23～24日——

今年の集会は「新しい未来へ～私からあなたへのバトンタッチ」と題して、記念講演・特別報告・分散会・リフレッシュ企画と盛りだくさんな2日間でした。

講演は、医労連の山田委員長による「日本の交替制は世界の非常識・署名で作ろう夜勤改善の風を」。

日本で当たり前と思われていることが実は世界から見ると非常識ということユーモアを交えて話されました。また、医労連の「看護職員の労働実態調査」結果から浮き彫りになった職場実態。国際基準での保護と規制が求められている。そのために世論を作ることが大事。看護師自身が行動することが大事。これまで毎年続けてきた国会請願署名によって作り出してきた到達点の確認。

さらに、様々な権利も持っているだけではいずれ消えてなくなってしまう。今を生きる人たちが使って守って、後輩に受け継いでいくのは私たちの義務です、と力を入れて話されました。参加者は「無知ではいけない。署名の意義が分かった。2年目、積極的に取り組みたい」と感想を述べていました。

特別報告は、中国地方で経験した医療事故の支部対応について本部から報告しました。「自分の職場でも起こること。いつ起こっても対応できるように支部で話し合うことが大切」と再確認しました。



オートリンパマッサージ実演中

2日目のリフレッシュ企画は現役看護師の鳩山さん（佐賀病支部）による「ハンドマッサージ&ネイルケア」と大村支部OB田中さんによる「オートリンパマッサージ」の2本立て企画でした。参加者は2人ペアで、見様見真似で実施。楽しく、リラックスして日頃の疲れを癒しました。参加者は「毎日へとへとなので気分転換になりました」と感想を述べていました。

最後に分散会の発表をしました。ある分散会は、話し合った内容を川柳にして発表していました。

「超勤は 人手不足の 申請書」

「始業前 事故が起きたら 自己責任」

「再任用 責任変わらず 給与減」

「医療事故 一人にさせない 全医労」

「300万 集まりゃ達成 夢じゃない」—葛目聡子作（南福岡支部）

お見事！！でした。



ハンドマッサージ実演中



大分地区・女性集会の後ナースウエーブで署名 197 筆！

大分地区は5月10日女性集会を開催し、美馬九地協・副議長(西別府支部)に「夜勤制限・増員署名につながる看護師運動の流れ」について講演してもらいました。本部副委員長の経験から多くの支部の退勤時間調査に参加し、実例を挙げながら、ひどい夜勤実態を改善するためにも夜勤改善が必要と、増員署名の意義を強調されました。

午後は、県医労連ナースウエーブの取り組みに合流し、街頭署名活動で奮闘し、3支部から14人が参加し、1時間で197筆を集めました。

九州地方協では、各支部がナースウエーブに参加しています。宮崎支部はナースウエーブで署名360筆を集めました。



佐賀地区もナースウエーブ行動で 140 筆！



佐賀地区は、5月17日に佐賀県医労連のナースウエーブ行動に結集し、佐賀市大和町の道の駅「そよ風館」で大幅増員・夜勤改善署名の宣伝行動を行い、全医労佐賀地区の仲間を含む14人が参加しました。

サービスの血圧測定と飴玉が好評で、140筆を集約しました。

☆ = 2年目スタート「新・夜勤改善・大幅増員署名」 = ☆

一年目は5月31日で締め切りました。62,327筆(29.7%)でした。

3年計画の1年目として取り組んだ「安全・安心の医療・介護実現と夜勤改善・大幅増員を求める国会請願署名」(略称：新・夜勤改善・増員署名)は医労連全体で5月末現在、419,792筆が集約されました。この署名は5月末までにすべてを紹介議員を通して国会に提出し、1年目は終わりになります。

6月から2年目に入りましたが、2年目の署名については、請願項目は変わりません。本部に残っているピンクの署名を6月中に発送します。まずは今あるピンクの署名をご活用ください。また、8月以降には、色を変えた署名が医労連より発送されることになっています。追って本部より発送します。

1年目を上回る署名の数と運動で、大きく世論を広げて行きましょう。